

吾妻山砂防通信

第75号

★管内工事を紹介します★

荒川流域砂防堰堤管理用通路外工事：小林土木(株)

【工事の概要】

工期：令和4年10月18日～令和6年3月29日

◎佐原地区 ◎土湯温泉町地区 ◎在庭坂地区

◎堂の上地区

- ・砂防土工、流路護岸工、床固工、
- ・構造物撤去工、仮設工

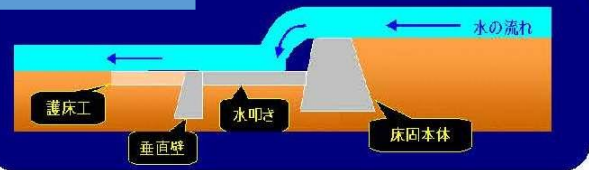


令和5年12月25日(月)、堂の上地区の現場を取材してきました。現場は温泉街を流れる荒川沿いで、現場の脇には大きな旅館もあります。今年の冬は例年と比べて暖かい日が続いていますが、山深い谷間ということもあり、なかなか日差しが届かず、雪が残る寒さの厳しい現場でした。



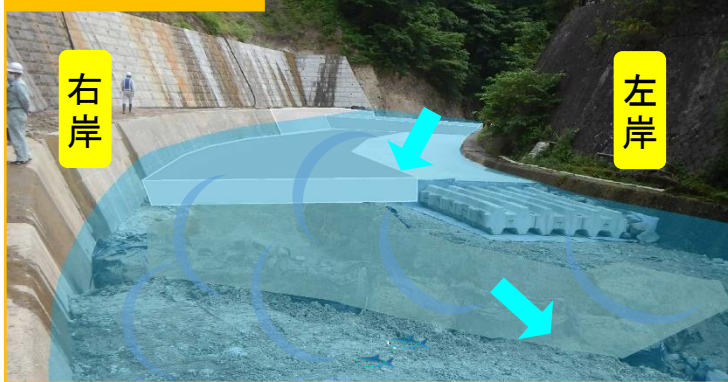
▲取材当日は水叩部の残存型枠組立を行っていました。組立後は水叩部にコンクリートを打設します。

床固工とは



床固工（とこがためこう）とは、川底に段差をつけることで川の勾配をゆるくし、水の勢いを抑える効果があります。

完成イメージ図



▲左岸側の部分は既に完成しており、現在は右岸側の床固め、水叩きを作っています。完成後は床固で川の流れをおさえ、水叩きで川底を保護します。

【安全対策と防寒対策】



◀【土石流センサー設置】
施工箇所上流部に土石流センサーを設置し、土石流が発生したら回転灯及びサイレンで作業員に知らせ、土石流が到達する前に避難できるように対策しています。

現場は日陰が多いのでジェットヒーターは必須！！



▶【ジェットヒーター】
現場内に作業員休憩所を設置するスペースがないため、暖をとる専用のジェットヒーターを設置して休憩時に体を温めています。



【現場代理人から一言】



(小林土木 丹治さん)

工事を担当している小林土木(株)の丹治です。当工事は佐原地区・土湯温泉町地区・在庭坂地区・堂の上地区の4箇所に分かれており、堂の上地区は川の流れを穏やかにする床固工等を右岸側に施工、その他の地区は護岸等の補修、堰堤を作るための管理用通路等の施工をしています。

施工箇所周辺には宿泊施設や温泉関連施設等があることから、関係者とのコミュニケーションを図り、工事の理解を得ながら施工しています。



安全第一で工事を実施致します

第24回 あづま荒川クロスカントリー大会が開催されました



令和5年12月10日(日)、福島市のとうほう・みんなのスタジアム(あづま陸上競技場)を発着点として、858名の方があづま荒川クロスカントリー大会に参加しました。福島河川国道事務所長がスターターを務め、登録有形文化財である「地蔵原堰堤」やその上流にある「荒川大暗渠」を渡る13km部門や小学生向けの2.3km部門など、年齢や距離毎に13の部門に分かれてレースが行われました。



▲丸山事務所長の合図でスタート!



▲地蔵原堰堤の前を駆け抜けるランナー



▲吾妻山をバックに走ります



砂防関係安全施工技術研究発表会

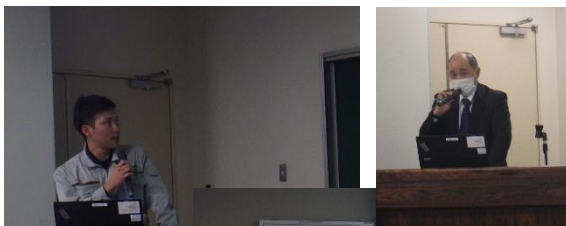


令和6年1月15日(月)、当出張所管内の工事や調査業務を行っている6社の参加により、「砂防関係安全施工技術研究発表会」を福島河川国道事務所にて開催しました。現場条件の厳しい砂防の現場での経験や、安全への創意工夫を現場技術者が発表し、情報共有や意見交換をすることによって安全施工技術の向上を図ることを目的としています。

今回は工事現場5題、調査業務3題の発表が行われました。人が入るのが困難な砂防施設を上空からUAVにより確認する技術や、土石流センサーを設置して土石流が襲ってくる前に何分で退避することができるかの避難訓練の実施報告など、各々の現場で実際に行われている安全対策を業者間相互に知る機会となりました。



▲発表会場



▲発表の様子



▲講評

▶発表の様子

「ご意見、ご感想、
砂防に関すること」
はこちら

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
吾妻山山系砂防出張所

〒960-2261 福島県福島市町庭坂字遠原三3-4 TEL: 024-591-1207 FAX: 024-591-5527

◆福島河川国道事務所HP (<http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>) も是非ご覧下さい◆

